



V・ファーレン長崎

愛と平和と一生懸命～長崎市と連携協力した平和の灯～ 1/2



Story

V・ファーレン長崎は、クラブ創設以来、ホームタウンである長崎県でスポーツ・サッカーを通じて平和を発信してきました。V・ファーレン長崎は、クラブ創設以来、ホームタウンである長崎県でスポーツ・サッカーを通じて平和を発信してきました。2019シーズンからは「愛と平和と一生懸命」をクラブの平和活動のスローガンとして、8月9日の長崎市への原爆投下の日を中心に毎年、平和について様々な活動や発信を行ってきました。2020シーズンは、原爆投下から75年、クラブ創設15周年という節目ということもあり、さらに多くの方と共に平和について考える機会を作りたいという思いで行政や様々な団体と共に平和について考え、発信する活動を行いました。そんな中、長崎市の被爆継承課の皆さんから、行政だけでは発信力が弱いというお話や、若い世代への平和への関心が薄れてきているという悩みを伺い、V・ファーレン長崎として何かこの悩みを解決する方法がないかと考えていました。コロナ禍ということもあり、平和についてのイベント実施になかなか踏み切れずにいましたが、感染者数が減少し、万全な対策をとったうえでということで、長崎市と平和の灯実行委員会が主催する「平和の灯」へ長崎市の被爆継承課の皆さんや、原爆資料館の皆さんと連携協力をして一緒にイベントを成功させて多くの方に平和について発信していこう！ということになりました。この平和の灯は、平和祈念式典の前夜(8月8日)に、長崎市民が手作りのキャンドルに平和への願いをこめたメッセージを書き入れて、灯をともしことで、原爆で亡くなった多くの方を慰霊し、一人ひとりが原爆の惨禍を決して忘れることなく、若い世代に平和の尊さを継承していくために毎年開催している行事です。クラブとして多くの方にこの行事のことや、平和について知ってもらうべく、7月18日に平和の灯のイベントで使用するキャンドル作りのイベントを長崎市の長崎市民会館で開催しました。当日は長崎市と平和の灯実行委員会、原爆資料館の皆さんにキャンドル作りの指導はもちろん、平和の灯自体の意味合いについてお話をいただき、事前に募集していたファン・サポーター21名と共に平和

への思いを新たにしてキャンドル作りに挑みました。最終的にはファン・サポーターの皆さんの平和への想いを書き記したキャンドルと共に、選手たちにもメッセージを書いてもらうためのキャンドルも含めた約100個のキャンドルを制作しました。イベントには長崎原爆資料館の篠崎桂子館長、社長の高田春奈やヴィヴィくんも参加し、参加したファン・サポーターや取材に来てくれたメディアを通じて多くの長崎県民の皆さんへ平和について考える大切さをお伝えしました。このイベントで作成したキャンドルにはその後選手や監督、スタッフ自らクラブハウスで平和への思いやイラストを書き入れました。V・ファーレン長崎として作成した100個のキャンドルは、8月8日の平和の灯のイベントに先行して7月25日にホームゲームで選手入場の際の通路にキャンドルを設置し、会場に集まったファン・サポーターへお披露目するとともに、V・ファーレン長崎としての平和への思いなどについて考えるきっかけとなりました。そして8月8日平和祈念式典の前夜、開催された平和の灯にはこれまではイベントに参加する子供たちやその関係者が多かったのですが、V・ファーレン長崎のユニフォームを着用したファン・サポーターがイベントに参加してくれていました。今回、一緒に平和の灯へのV・ファーレン長崎の参加について動いてくれていた長崎市の方々には、「コロナ禍での実施という状況で、V・ファーレン長崎に参加してもらうことで新たな平和への思いの発信ができた。とてもありがたかった」という話や、原爆資料館の皆さんからも「V・ファーレン長崎が積極的に平和についての発信を行うことで、V・ファーレン長崎のホームゲームを見に来たアウェイサポーターが資料館を訪れてくれてきている。これまでにない発信になっていてとてもありがたい。」などの言葉をいただきました。2020年はコロナ禍で活動が制限される中、ファン・サポーターや行政、多くの平和活動を行う団体と連携協力していくことで、これまでできていなかった多くの平和活動を行うことができました。今後も「愛と平和と一生懸命」をスローガンに長崎から世界へ平和を伝える活動を行って行きます。

活動詳細情報はこちら


<https://www.v-varen.com/peace/>
https://www.v-varen.com/home_town/118152.html
https://www.v-varen.com/home_town/119610.html



V・ファーレン長崎

愛と平和と一生懸命～長崎市と連携協力した平和の灯～ 2/2



活動場所

トランスコスモススタジアム長崎、平和公園、
長崎市民会館、原爆資料館

カテゴリー(SDGs)／取り組みテーマ

16 平和と公正を
すべての人に



協働者

NPO、住民、行政

協働者名

長崎市被爆継承課、長崎原爆資料館、
世界平和祈念行事実行委員会、平和の灯実行委員会、
ファン・サポーター

